



2月 たいようぐみ

朝晩の寒さがひときわ身にしみます。たいよう組の子ども達は、先生の真似をして「サムーイ」と言ってみたり、ブルブルと体を震わせて笑ったりと、関わりを楽しみながら季節を感じているようです。

胃腸炎やインフルエンザなど流行する季節でもあるので、室内の玩具や椅子、テーブルなど子ども達が触れるものの消毒を更にこまめに行い、今月も元気に過ごせるよう環境を整えていきたいと思ひます。



今月の目標

保育者に手伝ってもらいながら簡単な身の回りの事を自分でする事を楽しむ。

興味のある玩具で遊びながら、友達と一緒に居る事を楽しむ。

進級に向けて

たいよう組で過ごすのも残り2カ月。にじ組への進級に向けて子ども達が頑張っていることを紹介します。

●「お壁ペツタン」の声掛けで窓際の壁に背中をつけてお座りし絵本の読み聞かせや手遊びをする。

●水道で手を洗うとき「お袖ギュウー」と自分で腕まくりをする。また、順番まで座って待つ。

●「やって」「ちょうだい」等、意思表示を言葉やジェスチャーで相手に伝える。



子ども達の遊び方は日に日に変化しています。先日面白かったのはお買い物ごっこ。「〇〇ちゃんアイス買ってきて」とお願いすると、お部屋の入り口まで歩いていき、なにやら捨う動作。もちろんそこにはアイスなんてありません。そして保育者の元へ戻ってきて「ハイ」とアイスを渡してくれました。自分も！と真似をする子や、口をあけて食べる仕草をする子。とっても可愛い遊びでした。



担任 保立*小林